

令和2年7月部長会議 会議録（要旨）

- ◇日 時 令和2年7月1日（水） 午前8時35分から午前11時40分まで
- ◇会 場 市役所第一庁舎5階 庁議室
- ◇出席者 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、長野市保健所長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長、文化スポーツ振興部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、公有財産活用局長、市長公室長及び関係課職員

◇会議内容

<市長あいさつ>

- ・先月19日に、市内19例目の新型コロナウイルス感染症の感染者が確認された。幸い軽症で、既に退院もされ、また感染が広がらなかったことにも安心した。その後、市内では新たな感染は確認されていないが、県外との人の往来も増加しているので、感染リスクが身近に存在することを意識して、職務に当たってもらいたい。
- ・本市は、昨年の台風19号災害と、それによる経済の低迷、そこに新型コロナウイルス感染症と正にダブルパンチの状況で、経済が大変落ち込んでいる。残念ながら、既に長野びんずるや善光寺御開帳の1年延期など、各地区の多くのイベントも中止されている。私は、各地区の皆さんに中止されたイベントに代わる行事をぜひ検討してほしいと要請している。今までと同じように実行するのが難しい状況の中で、どうやったらできるのかを考えなければならない。部局長や職員も、三密を避けマスク着用、手洗い・うがいの励行、ソーシャルディスタンスを保った上で、懇親会や行事を積極的に行ってもらいたい。
- ・昨日、新型コロナウイルス感染症対策のための補正予算を専決処分した。国の地方創生臨時交付金の第2次分の配分額が先週決定したことから、本市における更なる新型コロナウイルス対策を早急に進めるため、第3弾の対策を予算化した。この補正予算では、飲食店・小売店等の事業者への更なる支援を盛り込んだほか、新たに公共交通や農業、文化芸術、プロスポーツ等の分野に対する支援など、緊急を要する事業に予算付けを行った。各部局においては、必要な人に1日も早く支援が届くよう、それぞれの所管事業に速やかに着手するとともに、引き続き更なる対策予算を組み、切れ目のない支援を行っていきたいので対応をお願いしたい。
- ・これからの時期は暑さが増し、熱中症も心配される。今年は、新型コロナウイルス感染症対策でマスク着用が推奨されているが、体温が外に逃げないため、熱中症の危険が高まると言われている。各部局の行事等においても、状況に応じたマスクの着用について市民に周知するようお願いしたい。
- ・昨年の台風災害からの復旧・復興に、今年の新型コロナウイルス感染症への対応が重なり、通常業務と合わせ、市役所全体で業務が非常に繁忙となっている。部局長をはじめ、職員の疲労も溜まっているものと思う。これから暑さが増し、身体的な負担も大きくなるので、休めるときには積極的に休暇を取り、英気を養ってもらいたい。併せて、暑気払いのシーズンなので、各職場において感染防止対策に留意して懇親会を行い、市内経済の回復に貢献してもらいたい。

1 報告事項

（1）今年度の包括外部監査の監査テーマについて（総務部）

標記事項について、総務部長から報告を行った。（資料1参照）

○質疑なし

（2）令和2年度6月専決補正予算について（財政部）

標記事項について、財政部長から報告を行った。（資料2参照）

○質疑

[副市長] エムウェーブやビッグハットで開催するイベントへの補助だが、対象期間はあるのか。

〔商工観光部長〕リンクに氷を張るまでの期間で、おおむね8月から11月までのイベントを対象とする。

（3）令和元年度長野市産業団地事業会計決算について（商工観光部）

標記事項について、商工観光部長から報告を行った。（資料3参照）

○質疑なし

（4）令和元年度戸隠観光施設事業会計決算について（商工観光部）

標記事項について、商工観光部長から報告を行った。（資料4参照）

○質疑

〔財政部長〕経費も入れた収支で見た場合では、どうだったのか。

〔北部産業振興事務所長〕キャンプ場会計、スキー場会計を合わせて、38万円ほどの黒字である。

（5）令和元年度水道事業会計及び下水道事業会計決算について（上下水道局）

標記事項について、上下水道局長から報告を行った。（資料5参照）

○質疑

〔財政部長〕一般会計が非常に厳しい状況なので、そこにしわ寄せが行かないように事業会計内で対応願いたい。

〔上下水道局長〕一般会計が厳しい状況にあることは理解しているので、工夫して対応していきたい。

2 協議事項

（1）長野市国土強靱化地域計画の策定について（総務部）

標記事項について、危機管理防災監から説明し、協議を行った。（資料6参照）

○質疑

〔財政部長〕国からの補助を受けるに当たり、当該計画の策定が要件とされるようだが、本市の計画は令和3年度当初からの計画となっていない。各種事業に対する補助金などの歳入については、どう考えればよいのか。

〔危機管理防災監〕内閣府に確認したところ、各省庁分の取扱いについては分からないとの返答であった。そのため、事業を担当する課ごとに連絡調整してもらうこととなる。

〔財政部長〕対象事業を所管する部局には、補助金などの歳入を国と調整した上で予算要求するようお願いしたい。

〔副市長〕国は、申請された事業を受け付けると思うが、予算が厳しい中、この計画が策定済みの自治体を優先して予算付けするだろう。申請したのはよいが、不採択ということにならないよう、計画期間を令和3年度当初から始まるよう変更すべき。

〔危機管理防災監〕検討する。

〔財政部長〕当該計画の策定が要件化されるのは、いつからなのかということも確認願いたい。

〔危機管理防災監〕確認する。

○今後の方向性

計画期間前倒しの検討を条件に了承

（2）被災地区公共施設等の整備について（企画政策部）

標記事項について、復興局長から説明し、協議を行った。（資料7参照）

○質疑

〔財政部長〕長沼保育園と長沼児童センターの財源について、昨年度から国と協議中という状況が続いている。現在の状況や課題について伺いたい。

〔こども未来部長〕現在地での建替えは困難であり、地元もそれを望んでいない意見がある中で、長沼小学校敷地

内への移転という話をしている。現在、厚労省と協議中だが、国からは建設地が正式に決まらないと協議できないと言われている。

〔財政部長〕基本的にはそうだが、実際には国へ足を運んで説明するなど、協議を重ねた上で内諾を得ておくべきだと考える。今回は高台に移転するという計画ではないので、補助を受けられるか不安である。

〔こども未来部長〕高台への移転が理想的だが、長沼地区には適地が無い。それ以外で、少しでも安全な場所をとるということで、長沼小学校敷地内を考えている。

〔市長〕地元として、建設希望地は決まっていないのか。

〔復興局長〕地元に対し、正式な案を示して説明してはいないが、地元が独自にアンケート調査を行っている。その中では、小学校敷地への移転に賛成との意見が多かった状況である。

〔教育長〕長沼小学校は、豪雨の際に避難所とならないことが分かった。長沼地区の住民が避難できる場所が無いように思えるが。

〔復興局長〕水害の場合、長沼地区内で避難所を確保することは難しい。そのような状況で、小学校敷地であれば、いざというときに垂直避難が可能であり、盛土もされているので、浸水被害の軽減が図られると考える。

〔市長〕「いつまでに決める」ということにしないと、時間ばかりが過ぎてしまう。

〔復興局長〕地元以案を説明し、意見を取りまとめて、8月、9月頃には建設地を決定したいと考えている。併せて、こども未来部には国との調整を進めてもらい、補助の確約を得る方向で進めてもらいたい。また、地元に対し、国の補助が無い場合には内容が変わってくるということも説明したい。

〔財政部長〕国の補助が無い場合には、できないこともあると伝えてほしい。保育園は仕方ないが、児童センターについては子どもプラザとすることもできる。

〔副市長〕こども未来部としては、どうしたいのか。

〔こども未来部長〕両施設ともに長沼小学校の敷地内に移転し、児童センターについては、小学校の施設を使用させてもらっているので、最低限必要なものを再建できればと考えている。

〔副市長〕地元住民の意見を聴くことはよいが、実際にはなかなか決まらない。また、住民自治協議会に絶対的な権限があるわけでもないのだから、こういう理由でこういう方向が望ましいということは、話しておくべき。

〔こども未来部長〕話はしており、保護者の中では小学校敷地に移転してほしいとの意向は強い。

〔市長〕地区に対し、市としてはこう考えているということは言わないのか。

〔復興局長〕今回、保育園と児童センターの案は一つしかないのだから、このようにしたいと話をしていく。

〔副市長〕保育園と児童センターの移転先は、子どもたちの安全面などを考えると、長沼小学校の敷地内とすることが一番良いと考えているということ、きちんと説明しておくべきである。

〔地域・市民生活部長〕支所周辺エリアの整備に関して、交流センターについては地元住民が使用する施設となるので、住民の意見ができるだけ反映できればと考える。また、豊野地区については、支所の件について地元と協議して決定したことが、議会の理解を得られない部分もあった。住民の意見を反映させた結果でも、それを具体的に打ち出す際には注意が必要である。

○今後の方向性

課題を踏まえて進めることを了承

(3) 令和元年度第二次長野市環境基本計画後期計画の取組結果及び令和2年度指標・目標値等の設定について(環境部)

標記事項について、環境部長から説明し、協議を行った。(資料8参照)

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

(4) 長野市太陽光発電施設の設置に関するガイドラインの在り方について
(環境部)

標記事項について、環境部長から説明し、協議を行った。(資料9参照)

○質疑

〔財政部長〕環境部としては、条例化することを前提としているのか。

〔環境部長〕審議会で意見を聴く中では、「条例化した方が良い」、「ガイドラインの強化で足りる」との意見があるが、環境部としては条例化する方向でまとめていきたい。

○今後の方向性

原案を了承

(5) 第82回国民体育大会に向けた施設整備について (文化スポーツ振興部)

標記事項について、文化スポーツ振興部長から説明し、協議を行った。

○今後の方向性

整備方針に、財政状況に配慮する旨を記載することを条件に了承

(6) 東日本台風災害に伴う公営住宅等への一時入居世帯の対応について (建設部)

標記事項について、建設部長から説明し、協議を行った。(資料10参照)

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

3 その他

(1) 職員のストレスチェックについて (総務部)

標記事項について、総務部長から説明を行った。(資料11参照)

○質疑なし

(2) 特殊勤務手当に関する条例の一部改正について (総務部／消防局)

標記事項について、総務部長から説明を行った。(資料12参照)

○質疑なし

(3) 令和元年東日本台風災害対応検証報告書について (総務部)

標記事項について、危機管理防災監から説明を行った。(資料13参照)

○質疑

〔保健福祉部長〕専門チームという言葉が幾つも出てきたが、これは具体的にどういった構成で立ち上げるのか。

また、マニュアル作成や協定の締結は、いつ頃までに実施するのか。

〔危機管理防災監〕専門チームは、昨年の台風災害時と同様に担当部署の中から適任の職員を選出してもらい、立ち上げることを考えている。また、マニュアル作成などは、各課において、できるだけ早めに完成できるようにお願いしたい。

〔保健所長〕この報告書を、市の中で共有することはもちろんだが、市民や他の自治体から応援に来ていただいた職員やボランティアにも情報提供できるとよいと思う。印刷して配るのはお金がかかるが、ホームページに掲載するというのも考えられる。報告書の今後の周知については、どう考えているのか。

〔危機管理防災監〕 ご意見を参考に検討したい。

（４） 2019年度 長野地域スクラムビジョンの進捗状況について（企画政策部）

標記事項について、企画政策部長から説明を行った。（資料14参照）

○質疑なし

（５） 地方創生臨時交付金の拡充について（企画政策部／財政部）

標記事項について、企画政策部長及び財政部長から説明を行った。（資料15参照）

○質疑

〔副市長〕 各部局には、長期戦略2040実現に向けた事業案の検討をお願いしたい。

以上